

2017年5月期 決算説明会

(証券コード：7713)



2017年7月14日(金曜日)

目次

1. 2017年5月期 決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

2. 2018年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

3. 2018年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

4. 質疑応答

SIGMAKOKI (1)2017年5月期 決算概要報告(連結)

**産業分野の設備投資・研究開発投資が引き続き堅調に推移し増収増益。
スマートフォン・車載関連の半導体業界やFPD業界、バイオ・医療業界向けが堅調。**

【百万円未満切り捨て】

	15/5期 累計実績 (前年同期比)	16/5期 累計実績 (前年同期比)	17/5期			サマリー
			修正予算 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	構成比	
売上高	6,676 (-0.7 %)	7,466 (+11.8 %)	7,650 (+2.5 %)	7,846 (+5.1 %)	100.0 %	・教育機関、公的機関向け研究開発分野は横ばいで推移 ・産業分野は設備投資、研究開発投資の回復傾向を背景に堅調に推移 ・現地通貨ベースでは、アメリカ、アジア地域は堅調に推移。ヨーロッパは横ばいで推移。
営業利益	435 (+20.7 %)	790 (+81.7 %)	780 (-1.3 %)	912 (+15.5 %)	11.6 %	・売上原価は材料費等が増加。 ・販管費は経費削減の徹底と、開発投資・設備投資の圧縮により抑制
経常利益	555 (+13.5 %)	875 (+57.5 %)	860 (-1.7 %)	1,036 (+18.4 %)	13.2 %	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	327 (+11.0 %)	596 (+82.5 %)	565 (-5.4 %)	746 (+25.1 %)	9.5 %	・繰延税金資産の回収可能性の判断に基づく税効果会計による税金費用の減少により大幅増加
1株当たり 当期純利益	43円41銭	79円25銭	75円00銭	99円11銭	—	
平均為替レート						
1USドル	110.03円	120.16円	108.00円	109.03円		
1人民元	17.74円	18.88円	16.00円	16.20円	—	
1ユーロ	138.68円	132.36円	118.00円	119.37円		

SIGMAKOKI (2)セグメント別売上高・営業損益(連結)

売上高

【百万円未満切り捨て】

製品区分	15/5期	16/5期	17/5期		
	累計実績	累計実績	累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	5,698	6,323	6,599	84.1 %	4.4 %
光学基本機器製品	2,105	2,318	2,340	29.8 %	0.9 %
自動応用製品	1,117	1,320	1,389	17.7 %	5.2 %
光学素子・薄膜製品	2,476	2,684	2,869	36.6 %	6.9 %
システム製品事業	1,000	1,166	1,271	16.2 %	9.0 %
光学システム製品	1,000	1,166	1,271	16.2 %	9.0 %
消去	-22	-23	-24	-0.3 %	-
合 計	6,676	7,466	7,846	100 %	5.1 %

営業損益

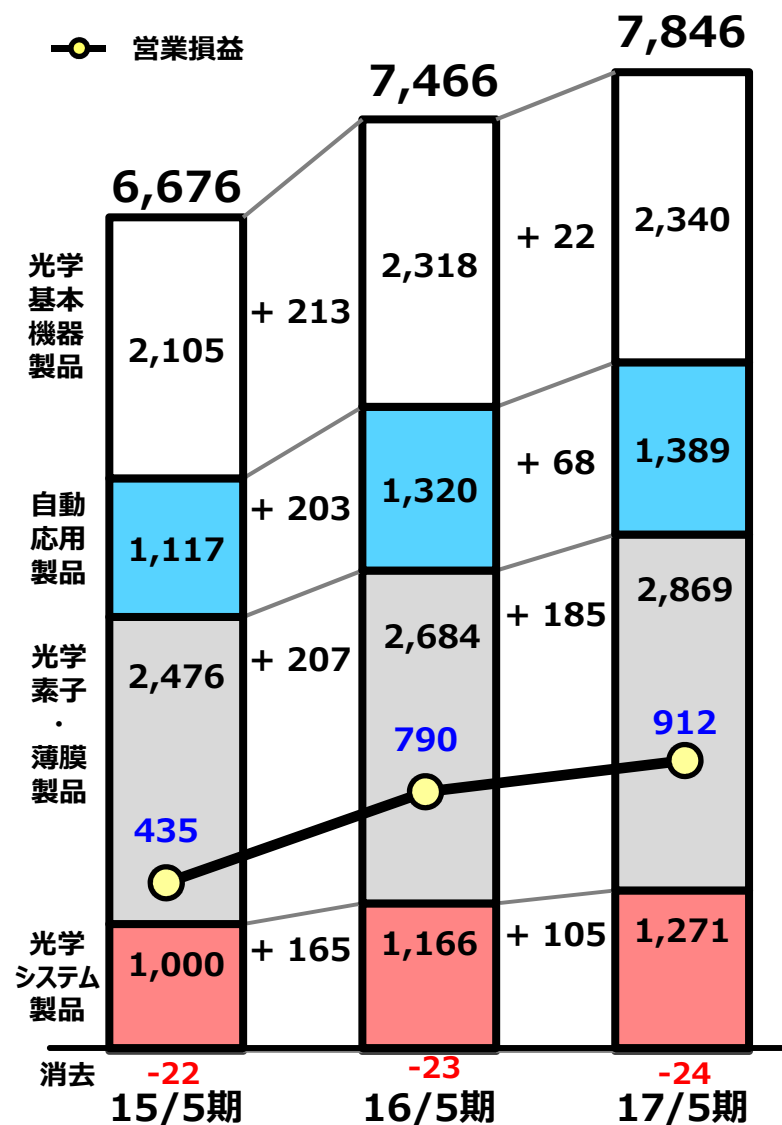
【百万円未満切り捨て】

事業区分	15/5期	16/5期	17/5期	
	累計実績	累計実績	累計実績	前年同期比
要素部品事業	991	1,182	1,361	15.2 %
システム製品事業	-134	51	23	-53.4 %
消去	-421	-443	-472	-
合 計	435	790	912	15.5 %

売上高

【百万円未満切り捨て】

● 営業損益



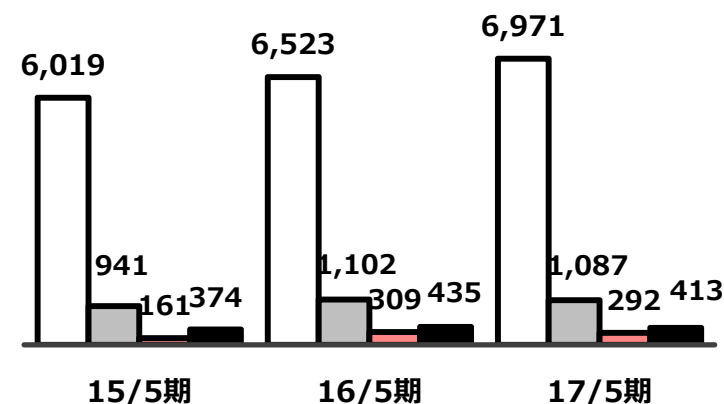
SIGMAKOKI (3)グループ所在地別売上高・営業損益(連結)

【百万円未満切り捨て】

売上高

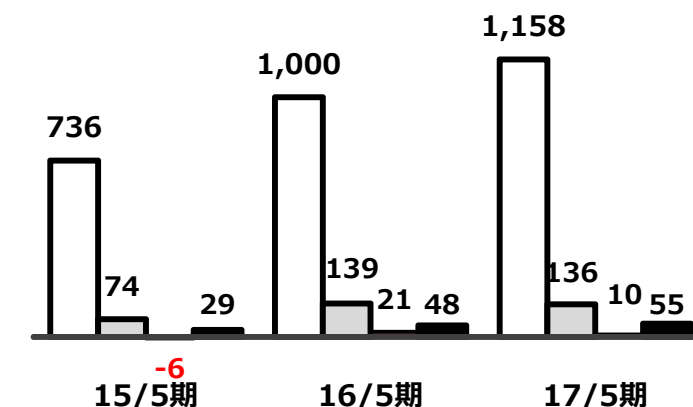
※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】

日本 アメリカ
フランス 中国



営業損益

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】



	15/5期通期累計		16/5期通期累計		17/5期通期累計	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	6,019	736	6,523	1,000	6,971	1,158
アメリカ	941	74	1,102	139	1,087	136
フランス	161	-6	309	21	292	10
中国	374	29	435	48	413	55
消去 又は全社	-820	-398	-903	-419	-918	-448
合 計	6,676	435	7,466	790	7,846	912

SIGMAKOKI (4)海外販売先別売上高構成比(連結)

アメリカ・一部アジア地域は堅調に推移。ヨーロッパは横ばいで推移。

アメリカ地域は、堅調な経済情勢の中、バイオ・メディカル分野・計測分野の需要は堅調。
アジア地域は、中国・韓国の一部の携帯端末関連業界と学術系研究開発分野は堅調。
ヨーロッパ地域は、学術系研究開発分野での展開拡大も地政学リスクもあり需要は横ばい。

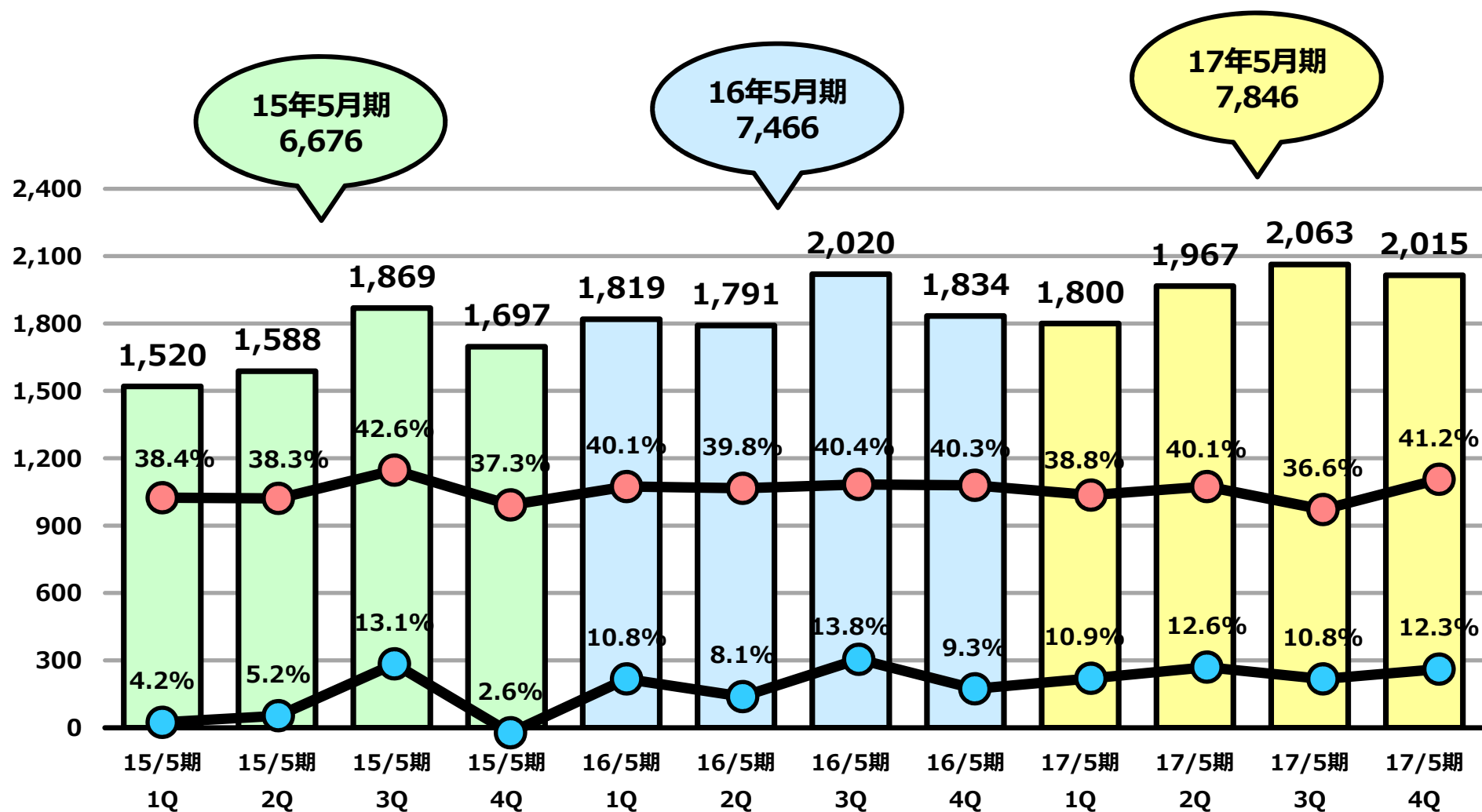
【百万円未満切り捨て】

	15/5期	16/5期	17/5期			サマリー
	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	6,676 (100.0 %)	7,466 (100.0 %)	7,846	100.0 %	5.1 %	
海外売上高	1,719 (25.8 %)	2,103 (28.2 %)	2,156	27.5 %	2.5 %	・為替換算レートのマイナス影響はあるものの、アジア地域の売上伸長で前期比プラス。
アメリカ	858 (12.9 %)	984 (13.2 %)	956	12.2 %	-2.8 %	・バイオ、メディカル、半導体、計測分野向けの組込み用要素部品は堅調に推移も為替換算の影響で前期比マイナス。
アジア・オセアニア	626 (9.4 %)	769 (10.3 %)	885	11.3 %	15.1 %	・携帯端末市場向けレーザ加工機・検査装置への組込用レンズユニット等が堅調に推移。
ヨーロッパ	232 (3.5 %)	301 (4.0 %)	270	3.4 %	-10.5 %	・学術系研究開発分野の高難度案件の取り込みを強化も、地政学的リスクの影響あり。
その他	3 (0.0 %)	48 (0.6 %)	44	0.6 %	-6.8 %	

SIGMAKOKI (5)四半期売上高・利益率推移(連結)

□ 売上高
 ● 売上高総利益率
 ● 営業利益率

【百万円未満切り捨て】



SIGMAKOKI (6)売上原価の状況(連結)

特注・OEM案件の対応等により売上原価率は前年同期比1pt増加。

外部調達比率の高い特注リピート案件・OEM案件等の需要増加により材料費等が増加。
労務費の抑制、減価償却費の圧縮等の結果、売上原価率は前年同期比で1pt増加。

【百万円未満切り捨て】

	15/5期		16/5期		17/5期			サマリー
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	6,676	100.0 %	7,466	100.0 %	7,846	100.0 %	5.1 %	
材料費等	2,256	33.8 %	2,596	34.8 %	2,870	36.6 %	10.5 %	・特注リピート品・OEM案件等の外部 調達比率の高い製品の構成比の増加 ・在庫の減少による増加
労務費	1,383	20.7 %	1,425	19.1 %	1,411	18.0 %	-1.0 %	・生産工程効率化により残業時間を圧縮 ・収益向上により賞与支給額が増加
減価償却費	273	4.1 %	256	3.4 %	232	3.0 %	-9.4 %	・設備投資の圧縮等により減少
その他	139	2.1 %	188	2.5 %	259	3.3 %	37.7 %	・水道光熱費、修繕費の減少 ・支払派遣費の増加
売上原価	4,052	60.7 %	4,467	59.8 %	4,773	60.8 %	6.9 %	・原価圧縮に取り組むも、材料費等の 増加により売上高伸び率を上回る
売上総利益	2,623	39.3 %	2,999	40.2 %	3,073	39.2 %	2.5 %	

SIGMAKOKI (7)販売管理費の状況(連結)

全社的な経費削減活動により販管費率は前年同期比で2.1pt減少。

収益向上を背景に人件費は増加も、デモ機材の準備も一巡し販売促進費が減少。
開発投資、新規設備投資の圧縮などに伴う試験研究費・減価償却費の減少。

【百万円未満切り捨て】

	15/5期		16/5期		17/5期			サマリー
	累積実績	構成比	累積実績	構成比	累積実績	構成比	前年同期比	
売上高	6,676	100.0 %	7,466	100.0 %	7,846	100.0 %	5.1 %	
販売促進費	324	4.9 %	345	4.6 %	307	3.9 %	-11.2 %	・企業内展示会(PV展)向けのデモ機材の準備が一巡
広告宣伝費	86	1.3 %	82	1.1 %	87	1.1 %	5.6 %	・最新カタログの発刊、配布開始 ・寄贈品の払出しの減少
人件費	803	12.0 %	879	11.8 %	926	11.8 %	5.3 %	・収益向上による賞与支給額の増加
減価償却費	59	0.9 %	60	0.8 %	49	0.6 %	-17.8 %	・設備投資の圧縮等により減少
試験研究費	396	5.9 %	307	4.1 %	272	3.5 %	-11.4 %	・開発対象案件の絞り込みによる圧縮
その他	519	7.8 %	533	7.1 %	518	6.6 %	-2.9 %	・支払手数料、支払派遣費の減少 ・租税公課（外形標準課税）の増加
販売管理費	2,188	32.8 %	2,208	29.6 %	2,160	27.5 %	-2.2 %	
営業利益	435	6.5 %	790	10.6 %	912	11.6 %	15.5 %	

SIGMAKOKI (8)バランシート概要(連結)

【百万円未満切り捨て】

	15/5期 通期	16/5期 通期	17/5期		サマリー
			通期	前期末比	
現金・預金	2,824	2,875	3,212	11.7 %	・長期預金からの振替による増加
受取手形・売掛金	1,905	1,897	1,859	-2.0 %	
電子記録債権	119	172	445	158.4 %	
棚卸資産	2,017	2,186	2,133	-2.4 %	
その他流動資産	562	876	1,335	52.3 %	・有価証券(短期金銭信託)による増加
有形・無形固定資産	3,170	3,010	2,927	-2.8 %	・減価償却費による減少
投資等	3,367	3,328	3,163	-5.0 %	
資産合計	13,966	14,347	15,077	5.1 %	
支払手形・買掛金	811	927	993	7.2 %	
短期借入金	233	183	180	-1.5 %	
その他流動負債	460	661	805	21.7 %	・退任予定役員の退職慰労金の振替による増加
長期借入金	186	66	187	183.3 %	・借換タイミングによる増加
その他固定負債	765	835	729	-12.7 %	
純資産合計	11,510	11,673	12,181	4.4 %	・利益剰余金の増加
負債・純資産合計	13,966	14,347	15,077	5.1 %	

SIGMAKOKI (9)キャッシュフロー概要(連結)

【百万円未満切り捨て】

	15/5期 通期累計	16/5期 通期累計	17/5期 通期累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	431	995	826	・税引前利益による増加 ・減価償却費による増加 ・法人税等の支払いによる減少 ・売上債権の増加による減少
投資活動	-209	-467	-536	・有価証券の純増額の増加による減少 ・有形/無形固定資産の取得による減少
フリーキャッシュフロー	226	527	290	
財務活動	-185	-396	-122	・長期借入金の調達による増加 ・配当金の支出による減少
現金及び 現金同等物の期末残高	2,616	2,650	2,799	

目次

1. 2017年5月期 決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

2. 2018年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

3. 2018年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

4. 質疑応答

◆スローガン（2015年から継続）

「アジアNo. 1」から

「世界No. 1」へ

◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

グループ総合力で市場ニーズに取り組む



SIGMAKOKI (3)2018年5月期通期計画(連結)

足元の堅調な設備投資・研究開発投資を背景とした増収増益計画

ターゲットとする産業分野の設備投資は堅調であり、受注動向は底堅く推移すると見込む。
経費面は研究開発投資や設備投資の積極投資を予算計画に盛り込み利益は微増見込み。
当期純利益は、前期の税金費用減少のプラス影響がなくなり、前期比で減益予想。

【百万円未満切り捨て】

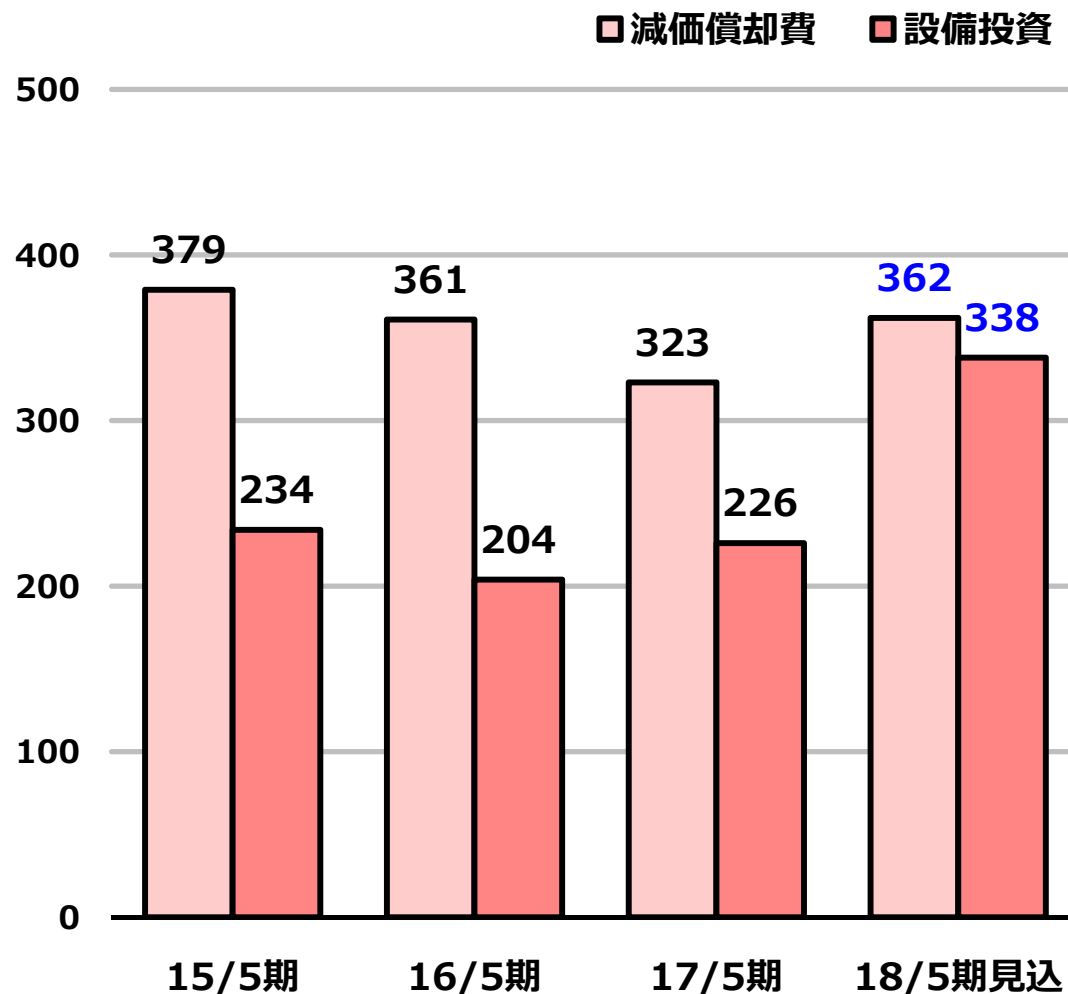
	16/5期		17/5期		18/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期予算	下期予算	通期予算	構成比	差額	増減率
売上高	7,466	100.0 %	7,846	100.0 %	3,970	4,235	8,205	100.0 %	358	4.6 %
営業利益	790	10.6 %	912	11.6 %	425	535	960	11.7 %	47	5.3 %
経常利益	875	11.7 %	1,036	13.2 %	475	565	1,040	12.7 %	3	0.5 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	596	8.0 %	746	9.5 %	310	380	690	8.4 %	-56	-7.5 %
1株当り 当期純利益	79円25銭	—	99円11銭	—	41円15銭	—	91円60銭	—	—	—

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=110.00円、1ユーロ=120.00円、1人民元=16.00円で計算しております。

SIGMAKOKI (4)投資・減価償却費見込み(連結)

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

◎主要設備投資

○15/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.3億円
- ・販促用デモ器投資 0.3億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円

○16/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.2億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.5億円

○17/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.9億円
- ・検査測定機器投資 0.2億円
- ・情報システム投資 0.3億円
- ・基本機器設備増強投資 0.2億円

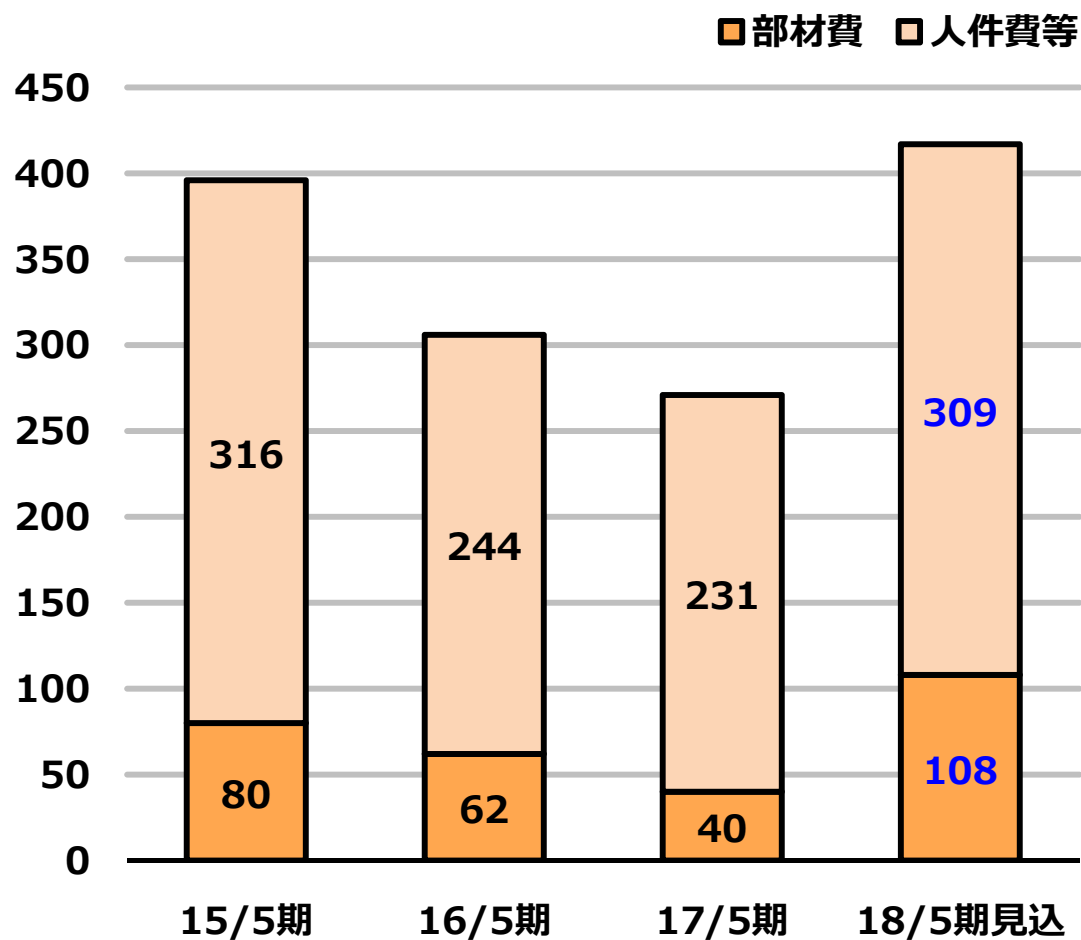
○18/5期

- ・光学素子設備増強投資 1.2億円
- ・営業本部デモ機投資 0.4億円
- ・基本機器設備増強投資 0.3億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.3億円



研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

○部材費

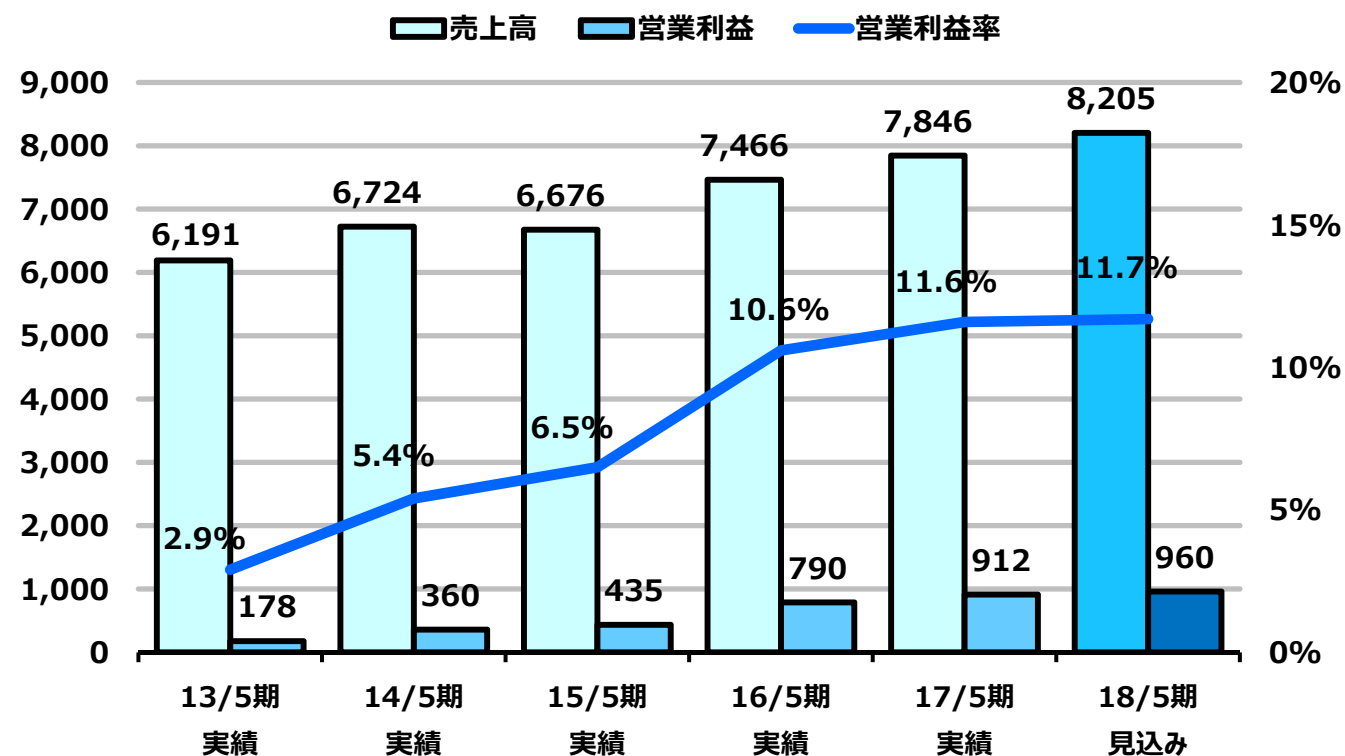
	自社	産学官連携
15/5期	73	7
16/5期	59	3
17/5期	39	1
18/5期見込	108	0

○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
15/5期	316	5.9%
16/5期	244	4.1%
17/5期	231	3.5%
18/5期見込	309	5.1%

SIGMAKOKI (6)売上高・営業利益・営業利益率予想(連結)

【百万円未満切り捨て】



2018年5月期通期サマリー

- ①売上高の増加
 - 産業分野の投資意欲は堅調
 - 海外市場は増加見込み
 - ②売上原価率の低減
 - 材料費・外注費率は増加
 - 部材調達・在庫の適正管理
 - 生産効率化による労務費の削減
 - ③販売管理費率の増加
 - 販売促進費・広告宣伝費の増加
 - 設備費・試験研究費の増加
- <販売展開の強化>
- 成長産業分野でのリピート取込み
 - 新ウェブカタログでの受注強化
 - 技術本部による製品開発の強化

* 強固な財務体質を堅持 (連結)

- ①自己資本比率 16/5期 : 81.0% → 17/5期 : 80.5%
- ②利益剰余金 16/5期 : 5,914百万円 → 17/5期 : 6,420百万円
- ③純有利子負債 16/5期 : ▲2,626百万円 → 17/5期 : ▲2,845百万円

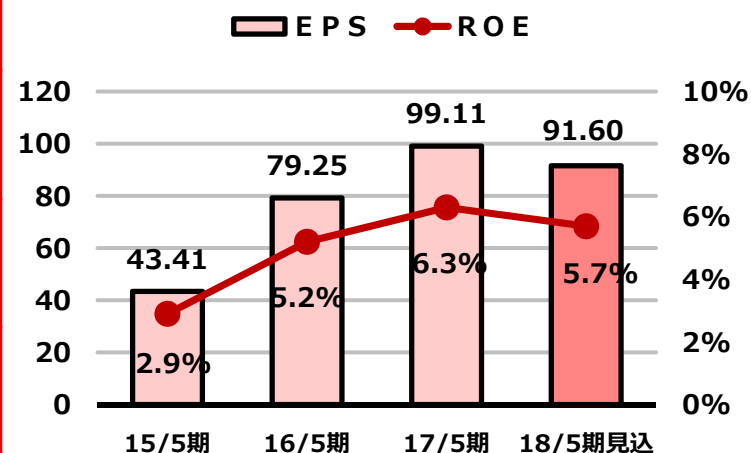
SIGMAKOKI (7)収益性分析の概要

連結EPS・ROE

	15/5期 通期	16/5期 通期	17/5期 通期	18/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	327	596	746	690
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	43.41	79.25	99.11	91.60
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	2.9	5.2	6.3	5.7(※)

※2017年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

【単位：円】

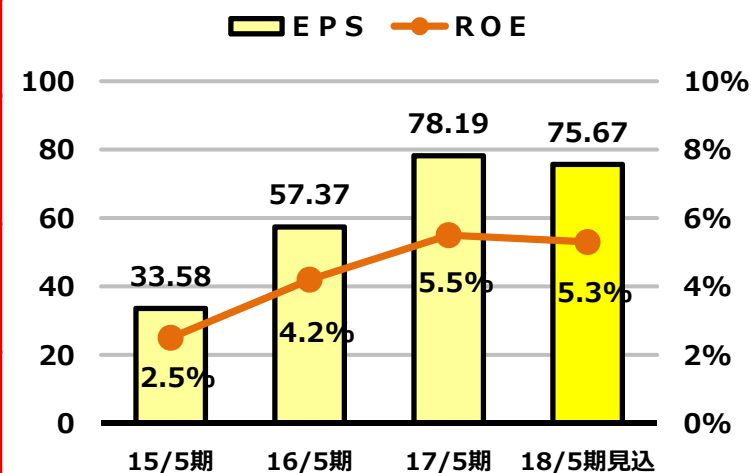


単体EPS・ROE

	15/5期 通期	16/5期 通期	17/5期 通期	18/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	252	432	588	570
1株当たり 当期純利益（円）(EPS)	33.58	57.37	78.19	75.67
自己資本 当期純利益率（%）(ROE)	2.5	4.2	5.5	5.3(※)

※2017年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

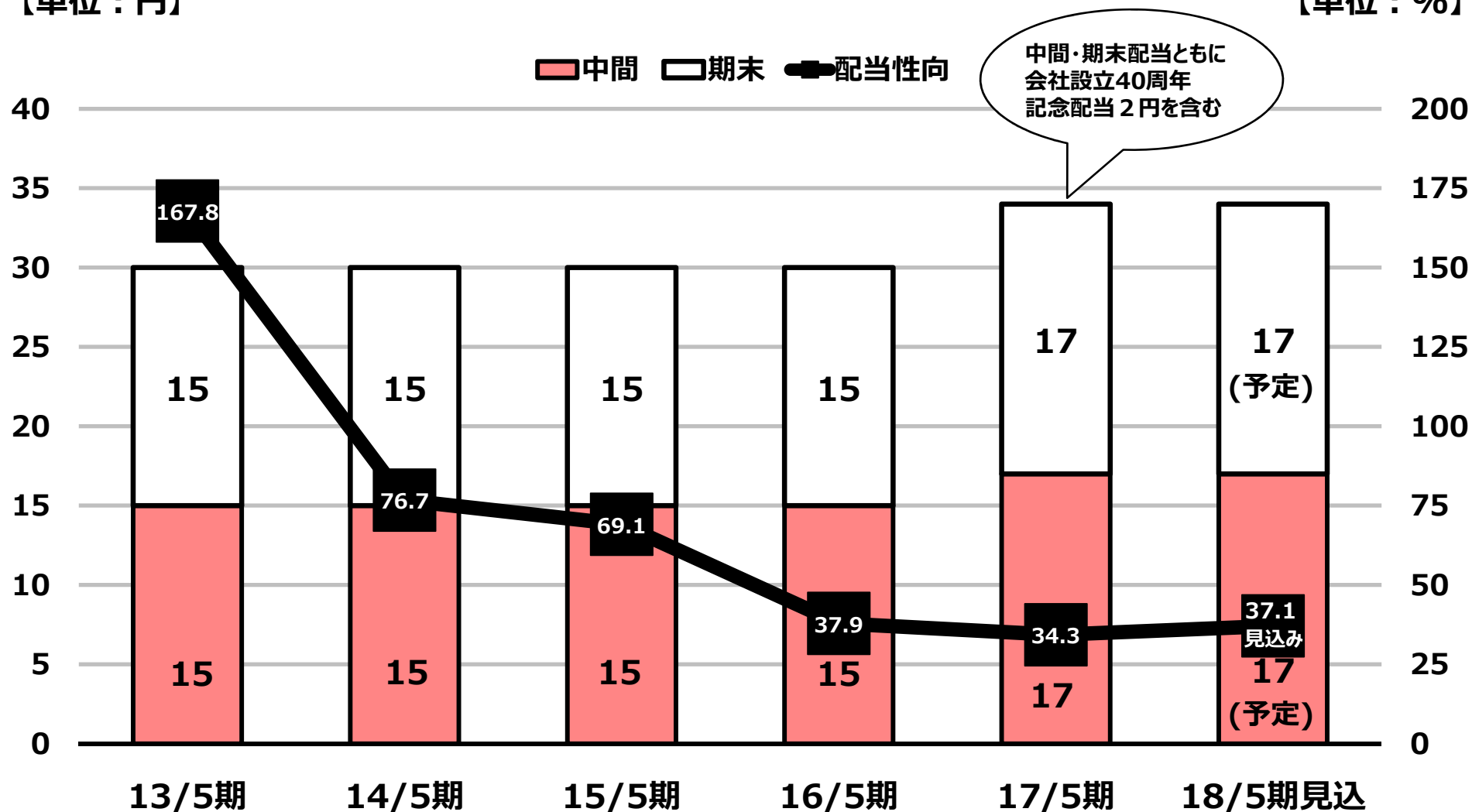
【単位：円】



継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】

【単位：％】



目次

1. 2017年5月期 決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

2. 2018年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

3. 2018年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

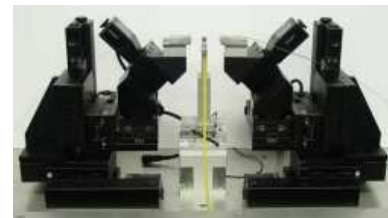
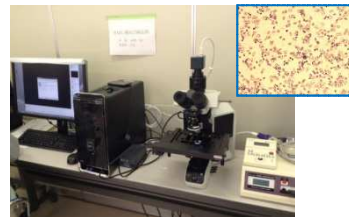
4. 質疑応答

(1)マーケットと主要製品

- 官公庁・研究機関 : 『お客様の欲しいを形に』製品群、No.1 Products
- スマートフォン関連 : 対物レンズ、加工鏡筒、自動ステージ、手動ステージ



- 防衛・航空宇宙関連 : 光学ユニット、IRディテクター等
- メディカルフォトンクス関連 : 医療用レーザーシステム、医療用光学システム
- 半導体関連 : 検査用装置、高精度光学ユニット、光学素子
自動ステージ等
- 通信関連 : ファイバー・導波路用自動調芯装置
- 国家PJ関連 : 光学ユニット、スーパーミラー等



① リピート・OEM・ODM受注増加

- ・特注品の仕様・価格・短納期対応でお客様が要求するリピート製品実現
- ・PV展にて積極的に実機紹介、製品ブラッシュアップ、新規案件創出

② チャレンジ案件(オンリーワン製品)の獲得

- ・国家PJ等の高難易度案件の概算見積・仕様のカウンタースポポーザル短縮
- ・技術本部・生産本部技術者同行対応でお客様からの要求仕様に合わせた
迅速なソリューション提案

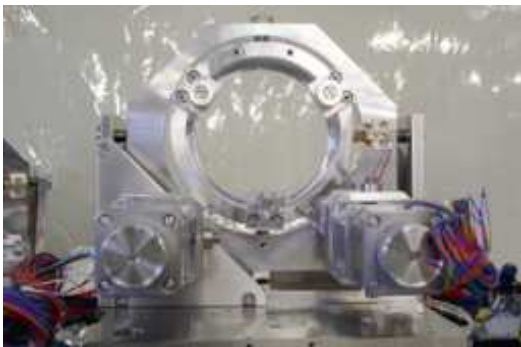
③ 新規潜在顧客層開拓による受注ベース底上げ

- ・海外競合他社を上回るUsabilityの高いWebをまずEU圏でスタート
⇒Ver.UP継続
- ・新製品、各種キャンペーンをWeb等でタイムリーに情報提供

- お客様の事業所や研究室を訪問し開発設計、購買部門に
新製品や当社特注対応力を説明しお客様のneeds・wants
案件を創出



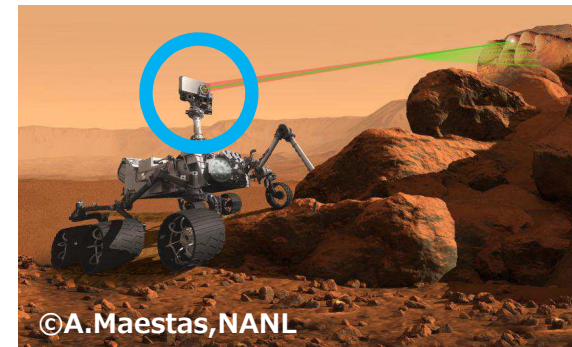
■ 国内・海外から当社技術力に期待した高難易度案件 (国家PJ入札案件等) の引合を頂戴し製品を具現化



高真空ミラーホルダー

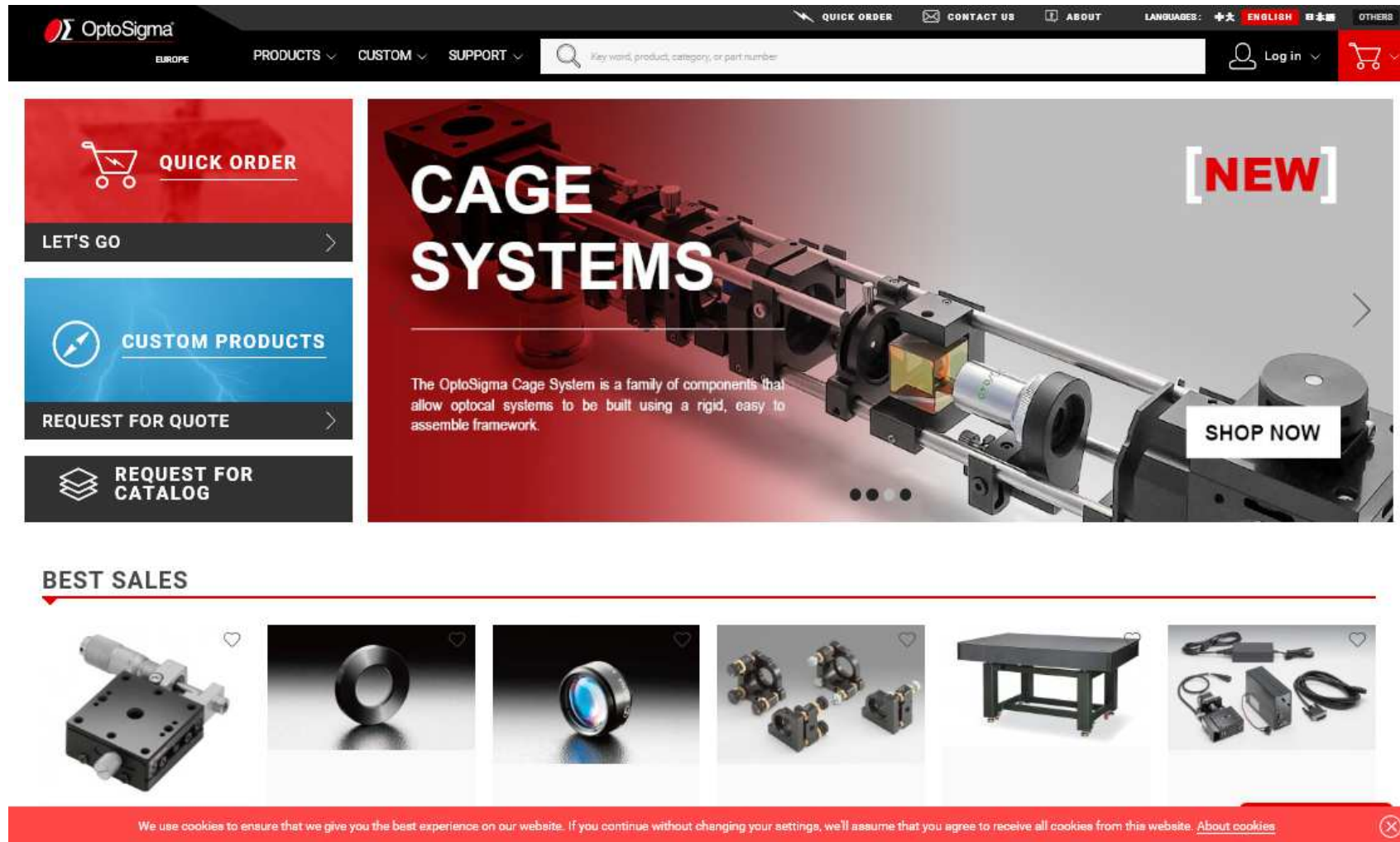


高精度オプティカル・キャビティ
スーパーミラー＋接合技術



NASA/CNES [「Mars2020計画」](#)
火星探査機搭載予定の
SuperCam検出器組込特注Optics
(ミラー、ダイクロイックミラー、レンズ、
光学ウィンドウ等)

<https://europe.optosigma.com/>



■ アジア地域（中国・韓国・台湾）

- ・スマホ生産関連活発化、新規設備需要が顕著、引き合い大幅増加
- ・中国政府はハイテク研究に重点投資、中国大学官公庁から
新規レーザ研究向けで当社カタログ規格品の大口引合増加

■ 北米地域

- ・バイオ・メディカル、レーザ測定、セミコン関連のOEMリピートが伸長
- ・国家PJ 等の大口・高難易度チャレンジ案件の実績増加

■ EU圏

- ・国家PJ 等の大口・高難易度チャレンジ案件の実績増加
- ・当社製品の品質と技術力に高い期待

※欧州でUsabilityなWebコンテンツ開始⇒ 受注ベース底上げ

第43期6月 受注好調発進

①スマホ設備投資の恩恵

光学ユニット、対物レンズ、加工鏡筒、自動ステージ



②レーザ加工機用途

組込製品受注の恩恵

光学ユニット、対物レンズ、自動ステージ、偏光素子



③半導体設備投資の恩恵

高精度光学ユニット、光学素子

④防衛関連・航空宇宙関連の リピートおよび新規案件創出

長期的に安定した継続受注

目次

1. 2017年5月期 決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

2. 2018年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

取締役管理本部長

菊池 健夫

3. 2018年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

4. 質疑応答

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。